

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

対象期間: R4.10.1~R5.3.31

評価期間: R5.4.18~R5.4.28

討議年月日: 令和5年5月23日

公表: 令和5年 6月13日

事業所名: 多機能型事業所ひまわりのもり

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	6			適切である	
	2	職員の配置数は適切である		3	3		配置は出来ているが、お子様に十分 な支援を行う為には増員が必要 求人募集中
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	6			月1回の職員会議等で状況に応じ た見直し、検討の実施	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画してい る	6			月1回の職員会議等で意見交換 し、改善策を話し合っている 年2回のキャリアパスシートを用 いて、個人及び法人として実施	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	6			年2回実施 保護者の最新の意向を把握す るよう努めている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	6			ホームページ、保護者向けのお たよりにて結果を公開し、お知ら せしている	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている			6		現在、外部評価未実施 実施検討
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	6			外部オンライン研修、地域協議 会研修には可能な限り参加 内部研修も実施している	
適切な支 援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放 課後等デイサービス計画を作成している	6			新規利用者には契約時に、既存 の利用者は更新毎にアセスマ ントを行い、最新の情報で作成し ている	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標 準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	1	利用者様より提示された医師の 診断書や発達センターの情報をも とに、適応行動の状況把握に 努めている	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			個別支援計画書をもとに利用者 の状況に合わせた活動を取り入 れるようチームで検討している	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	6			利用者の発達状況に合わせて 変更を加え、固定しないよう配 慮している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	6			平日マンツーマンでは難しい活 動は、学校休業日や長期休暇 時に設定し支援している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	6			都度、見直しを行い、必要な活 動を計画書にのせるようにして いる	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担につ いて確認している	6			朝礼にて、その日必要な課題や 役割分担の確認を行っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、気付 いた点等を共有している	6			夕礼にて、その日の利用者の様 子や、療育内容について情報共 有し、翌日の支援に繋げている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			個人記録に記入漏れがないよう、利 用中の活動の様子を「日々の記録」 として記入し、個人記録に反映さ せている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ サービス計画の見直しの必要性を判断して いる	6			設定期間毎にモニタリング会議 を行い、利用者の状況に合わせ 必要時は計画内容の変更を 行っている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	6			総則の確認をし、職員に周知し ている	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			児発管又は担当職員が参加している 新規利用者の担当者会議は、全職員参加し情報共有している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6			送迎時には担任とやり取りするようになっている 必要場合は適宜連絡を取り、確認や情報共有を行っている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				該当なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている				該当なし	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				該当なし	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2	1	こどもふくし協議会の研修に参加している	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			6		新型コロナウイルス感染症の影響で交流の場を設けることができない検討
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5		1	こどもふくし協議会にて行われる研修会、意見交換会への参加	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			連絡帳や送迎時に情報共有し、必要場合は電話連絡して漏れないようにしている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		5	1	必要時は利用者に対する接し方等の助言を行ったりしている	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			契約時には必ず説明を行い、必要時や保護者からの求めがある場合は対応している	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			相談がある場合は適宜対応し、保護者のニーズに答えている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			6		新型コロナウイルス感染症対策にて集会自粛中であったが、開催を検討している
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			苦情受付窓口を設置しており、必要場合は迅速に対応できる体制を整えている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			ひまわりだよりの発行やブログ更新、おたより等にて周知、発信している	
	35	個人情報に十分注意している	6			個人情報に係るものは鍵付き書庫にて保管 職員にも情報の取扱いについては周知している	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			配布資料等、専門用語で表記せず、わかりやすい言葉で示すよう配慮している	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			6		新型コロナウイルス感染症の影響にて地域住民とのコミュニケーションが図れていない 今後、対応を検討

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6		マニュアルを策定し、随時閲覧できるようにしている	保護者への周知方法についてはおたよりの出し方について再度検討	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		年2回の火災訓練、年1回の風水害訓練を行っている 実施時はおたよりやHPに掲載している	窓からの脱出訓練については、今後検討	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		虐待防止委員会主催で、定期的に研修の機会を設けている		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している				現在、該当はないが必要に応じて対応できるよう、マニュアルや指針等は整備している	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				該当なし	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			職員会議にて都度報告を行っている	